

【まるわかりガイド】

カフェテリアプランの全てを 徹底解説

カフェテリアプランって何？から
導入～運用までを全部見せます！

01 福利厚生の現状

.....

02 カフェテリアプランとは

.....

03 カフェテリアプラン導入・運用

.....

04 EWELにお任せください

.....

企業・自治体・労働組合の福利厚生担当者が、福利厚生を実施する目的について回答した結果です。一番重要視する目的は「モチベーションを高めたい」となっています。さらに4位には「エンゲージメントを高めたい」も入っています。

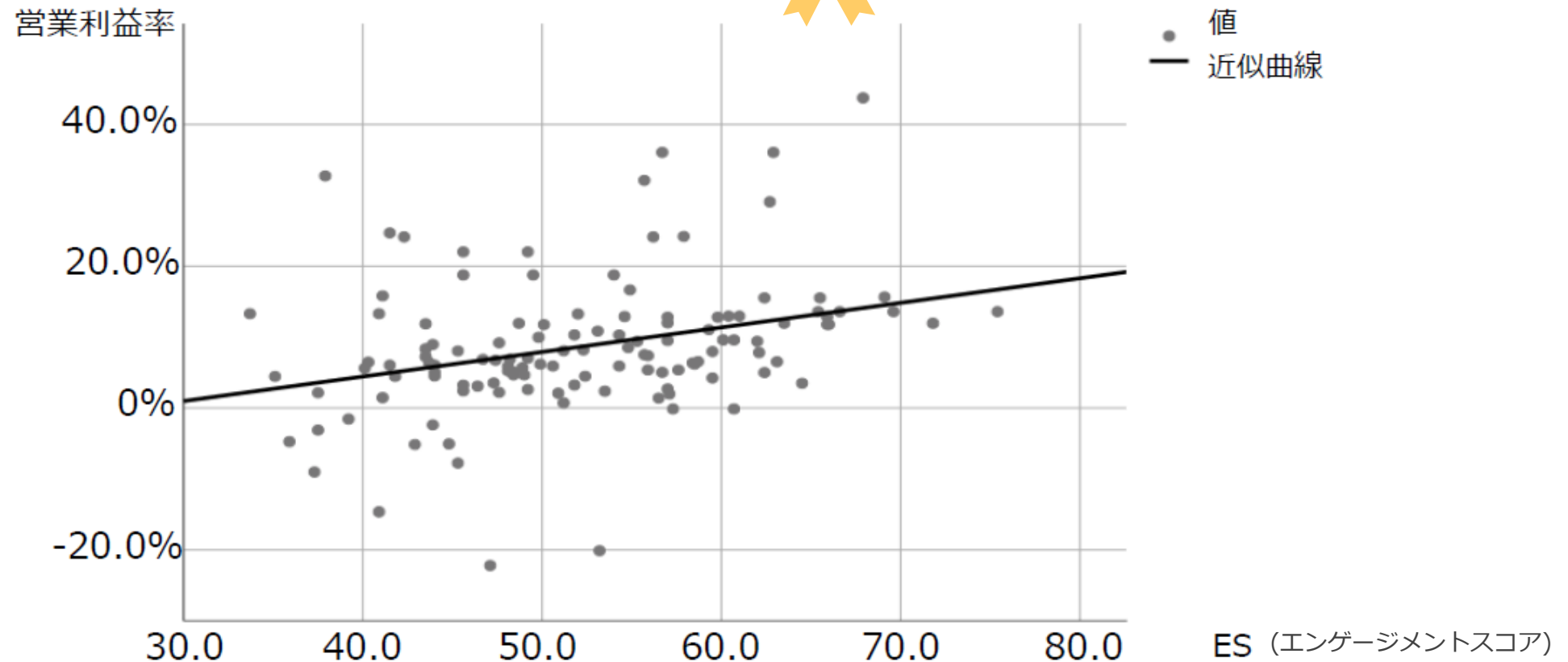
※複数回答（%）

順位	区分	割合
1位	モチベーションを高めたい	40.6
2位	社員・職員に安心感を提供したい	33.7
3位	新卒正社員・職員を採用したい	32.0
4位	若手社員・職員を定着させたい	29.7
4位	エンゲージメントを高めたい	29.7
5位	社員・職員の疾病予防、健康増進したい	25.1

旬刊福利厚生No.2359（2023年1月上旬）

「2022年度福利厚生担当者に聞いた福利厚生の課題と展望(前)」より掲載データを加工

従業員エンゲージメント 高い企業 VS 低い企業



【引用元】リンクアンドモチベーション「エンゲージメントと企業業績」に関する研究結果を公開
<https://www.lmi.ne.jp/about/me/finding/detail.php?id=14>

エンゲージメントが高い従業員が多くいる企業では、**営業利益率が0.35%上昇し**、**「エンゲージメント」は営業利益率にプラスの影響**をもたらす結果となっています




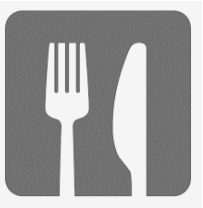







従業員エンゲージメントの向上のためにも

福利厚生制度は大事な制度です

そのためには、企業は**従業員のニーズ**に合った
福利厚生を導入する必要があります。

ニーズが多様化している現在、
全員に一律の福利厚生制度の提供では
満足度が上がらなくなってきました。

「自由に選択できない」「使いたいものがない」など、従業員によって
受益格差がある福利厚生制度は、満足度が低くなります。

	 Aさん(20代)	 Bさん(30代)	 Cさん(50代)
 食堂	 事業所に食堂なし	 弁当のため利用しない	 毎日食堂を利用
 社員旅行	 本当は参加したくない	 育児中で参加が難しい	 毎年参加

満足される福利厚生を提供するには
「**3**つの観点」が必要となります。

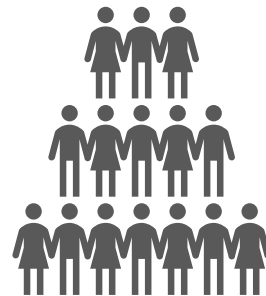
1

社会環境の変化



2

従業員要望の多様化



3

企業理念会社方針



① 社会環境の変化

コロナ禍の影響で、生活環境や働き方の変化に対応する必要がでてきました。



出勤



リモートワーク



会議や企業訪問



WEB会議



学校の授業



WEB授業



お買い物



ネットショッピング



通勤時間



可処分時間



現金払い



電子マネー

① 社会環境の変化

近年の労働人口の減少に伴い、働き方改革・女性活躍推進などが重要な要素となっています。

バブル以来 ことし倍増

最近の主な人手不足による倒産例

倒産のタイプ	倒産の日付	主な理由
関西圏 北区の建設会社	5月に民事再生法を申請	人件費や資材費の高騰で見積もり追いつけず発生
岡山県 倉敷市の建設会社	4月に破産を申請	人件費の高騰で下請け業者の倒産が相次ぎ、材料不足に陥った
長野県 南箕輪村の建設会社	5月に事業停止	人手不足に陥り、新規受注が減少した
福岡県 太宰府市の運輸会社	3月までに事業停止	ドライバー不足で採算が悪化した

人手不足を原因とした倒産は、バブル崩壊後の景気停滞期に比べて、2014年上半期（6月）は求人しても集まらない「求人難」による倒産が10件、「人件費」による倒産は10件、年間を通してそれ10件と9件だった。ことしは半年で既回るペースとなっている。求人難による倒産は、91年には258件に達したが、90年代の半ば以降はゼロの状態が続いた。

ことしに入ってから状況は、人手不足による倒産は今後も増える見通し。倒産に至らなくても、自主廃業に追い込まれる「隠れ倒産」も増加している。

人手不足倒産広がる

東京商工リサーチによると、2014年上半期（6月）は求人しても集まらない「求人難」による倒産が10件、「人件費」による倒産は10件、年間を通してそれ10件と9件だった。ことしは半年で既回るペースとなっている。求人難による倒産は、91年には258件に達したが、90年代の半ば以降はゼロの状態が続いた。

中小圧迫、景気足かせに

倒産件数の3.5倍

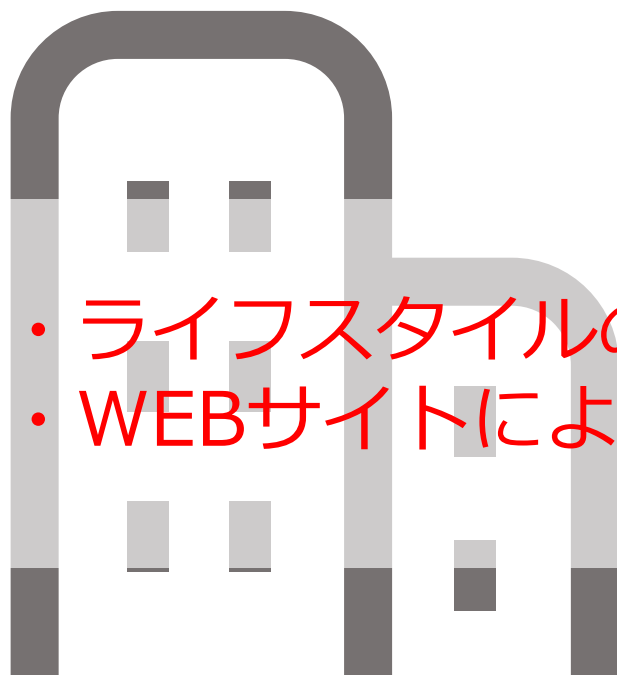
止まらない

人手不足廃業が

倒産件数は3.5倍に達している。人手不足による倒産は、バブル崩壊後の景気停滞期に比べて、2014年上半期（6月）は求人しても集まらない「求人難」による倒産が10件、「人件費」による倒産は10件、年間を通してそれ10件と9件だった。ことしは半年で既回るペースとなっている。求人難による倒産は、91年には258件に達したが、90年代の半ば以降はゼロの状態が続いた。

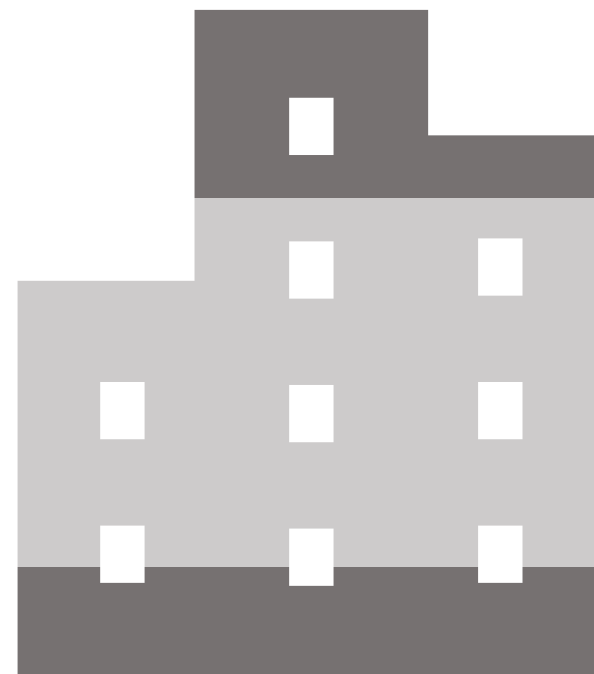
② 従業員要望の多様化

保養所や寮・食堂など従来の箱ものの福利厚生は、多様化していく従業員のライフスタイルや、WEBサイトの普及による選択肢の増加には、あまり対応できなくなり、時代に合った制度へ変更する必要がでてきました。



保養所

- ・ライフスタイルの多様化
- ・WEBサイトによる選択肢増加



寮・食堂

② 従業員要望の多様化

時代によって変わっていく従業員要望に対して、公平かつ公正で細かな従業員のニーズに合わせた選択肢を用意できる福利厚生制度が不可欠となっています。

公平な制度



選択肢が多い



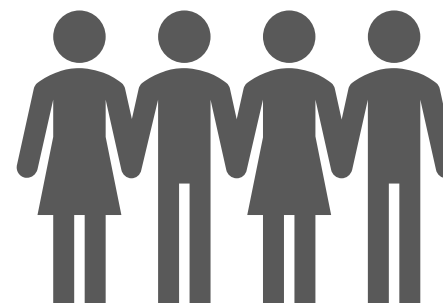
③ 会社方針

企業理念にのっとった選択肢を用意することで、従業員への理念の浸透を図ることにつながり、人材の確保や定着にも有効な情報発信となります。また、従業員は用意された選択肢から、会社が求める従業員のあるべき姿や会社の従業員に対する姿勢などを感じ取ることができます。

企業理念



人材戦略



【まとめ】福利厚生提供の「3つの観点」

社会環境の変化

社会環境の変化に柔軟に対応できる制度

従業員要望の多様化

公正・公平で選択肢の多い福利厚生制度

会社方針

制度に込める従業員へのメッセージを表現

【まとめ】 福利厚生の提供目的

『生産性の向上』 『人材確保』 『従業員の安心感』



従業員満足度の向上



従業員のエンゲージメント向上
企業メッセージの発信



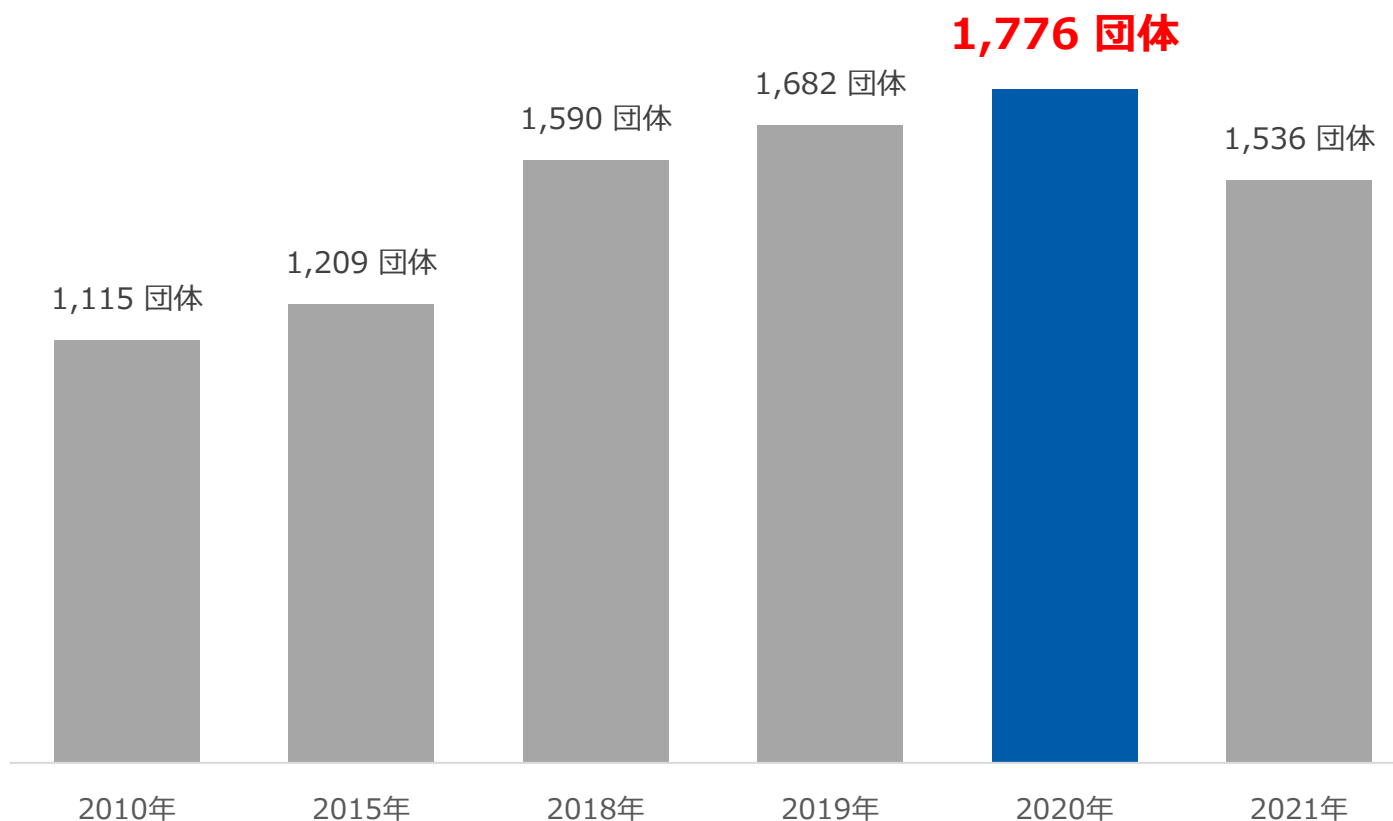
企業・従業員双方のメリットが飛躍的に増幅

これらをかなえてくれる福利厚生制度が
カフェテリアプランです

カフェテリアプラン契約団体数

カフェテリアプランは近年注目を集め、2010年から導入企業は**年々増加**しています。

※2021年度以降より回答社数変更により、値は接続していません。



【出典元】旬刊福利厚生No.2356（2022年11月下旬）「福利厚生白書」

01 福利厚生の現状

.....

02 カフェテリアプランとは

.....

03 カフェテリアプラン導入・運用

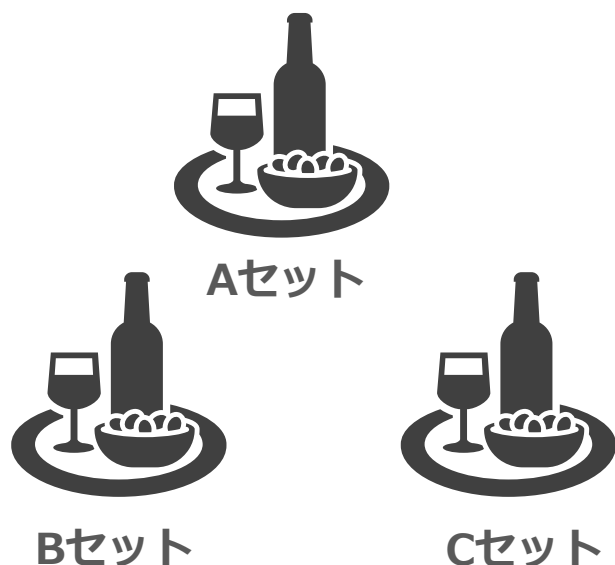
.....

04 EWELにお任せください

.....

定食のように
ある程度決まっている

従来型福利厚生 (パッケージサービス)



カフェテリアのように
自由に選択可能

選択型福利厚生 (カフェテリアプラン)



カフェテリアプランとは、企業により用意されたメニューの中から、従業員が使いたいメニューを自由に選択して利用できる「カフェテリアのような」制度で「**選択型福利厚生制度**」とも呼ばれています。

カフェテリアプランの特徴

公平

公平に福利厚生費用を
ポイントとして配分

自由度

配分されたポイントで
自分のニーズに合った
メニューを選んで利用

柔軟性

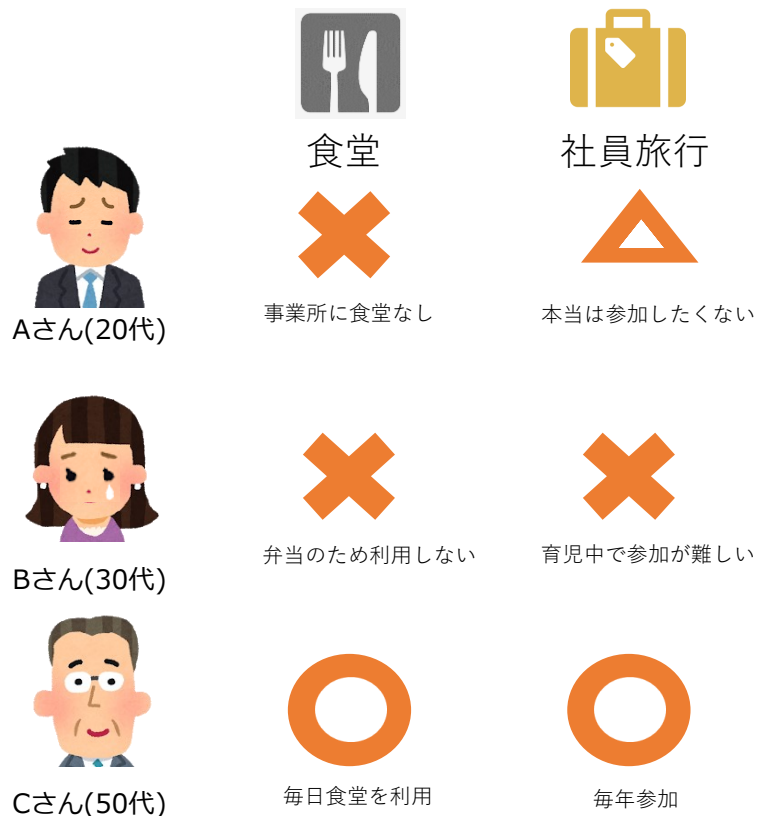
環境の変化に合わせ、
メニューの見直しや配分ポイ
ントの増減など改廃が容易

企業は福利厚生費用の一部を公平に従業員へポイントとして配分し、従業員は企業が設定した補助メニューの中から自分で選択して補助を受けることができます。

利用するメニューに従業員が自由に選択するため、様々なライフスタイルやニーズに対応した自由度・満足度の高い制度といえます。また変化していく社会環境などに対応して、メニューの見直しや配分ポイントの増減などの改廃が容易なのも特徴です。

■従来の福利厚生制度

受益格差がある。自由に選択できない。



■カフェテリアプラン

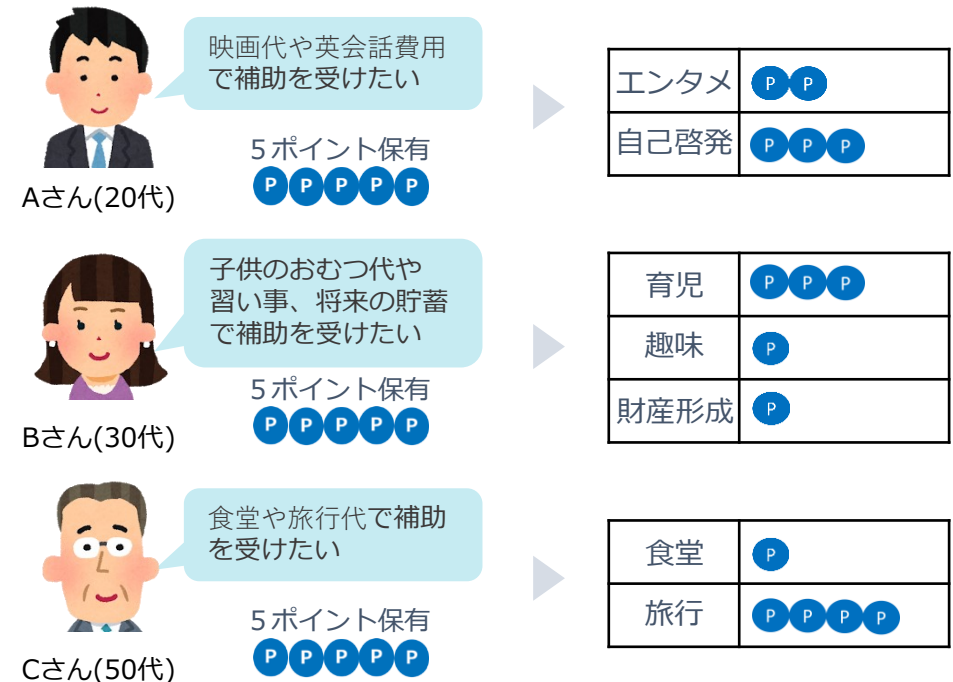
受益は同額。自分で自由に選択できる。

◆補助メニュー例

健康	自己啓発	財産形成	エンタメ	食堂
育児	介護	旅行	趣味	制服

etc

◆利用イメージ



こちらは従来の制度からカフェテリアプランに見直したイメージです。従来の制度では個人によって偏りのあった福利厚生費用の配分を、カフェテリアプランにすることにより、3人それぞれの価値観やライフスタイルに合った内容で利用できるようになります。

福利厚生費用の配分から従業員への還元の流れ

会社は福利厚生費用の一部をポイントとして従業員に付与し、従業員は会社が用意した補助メニューのサービスを利用し、料金を支払い領収証を取得します。その後、取得した領収証を添付してポイントを利用する申請をシステムでおこないます。担当部署がルールに則っているか審査のうえ、給与に加算して従業員に利用ポイント分を現金で還元します。



ポイント消化率(年間総消化ポイント÷年間総付与ポイント)

カフェテリアプランのポイント消化率

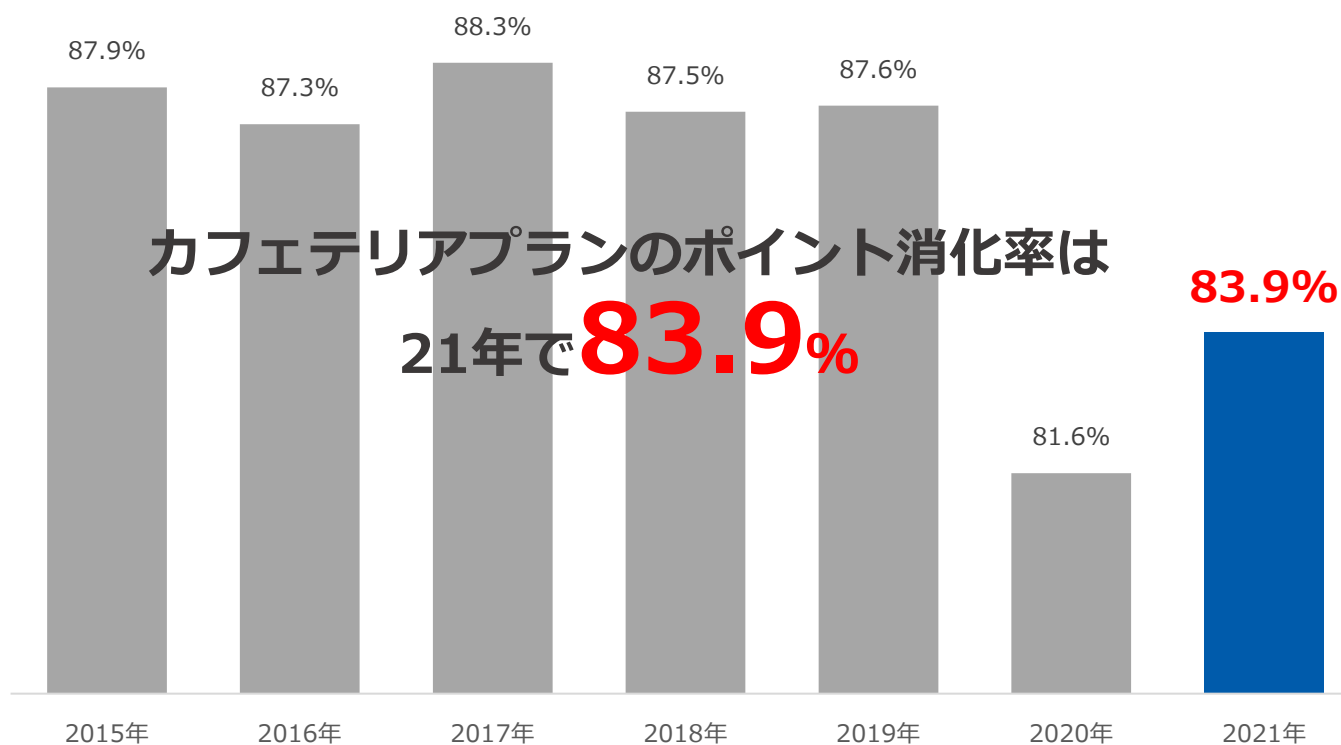
約**8割以上**



利用される**制度**

カフェテリアプラン
高い従業員満足度(高)

※2020年以降はコロナ禍によりダウンしましたが、V字回復の傾向にあります。



カフェテリアプランのポイント消化率は
21年で**83.9%**

【出典元】旬刊福利厚生No.2356 (2022年11月下旬) 「福利厚生白書」

01 福利厚生の現状

.....

02 カフェテリアプランとは

.....

03 カフェテリアプラン導入・運用

.....

04 EWELにお任せください

.....

カフェテリアプランの導入のステップは、制度見直し、カフェテリアプラン制度設計、運用の**3つのステップ**に分けられます。



ステップⅠ

制度見直し

既存制度棚卸・評価、方向性の決定

第1ステップの「制度の見直し」では、既存制度の棚卸、評価、新制度構築の方向性を決定します

- ①既存の福利厚生制度を一覧化、全容を把握
- ②従業員に付与するポイントの原資の確保など整理
- ③制度理念の確認（①②の妥当性と照らし合わせ検討）
- ④評価（既存制度の廃止・縮小、ポイント化など検討）

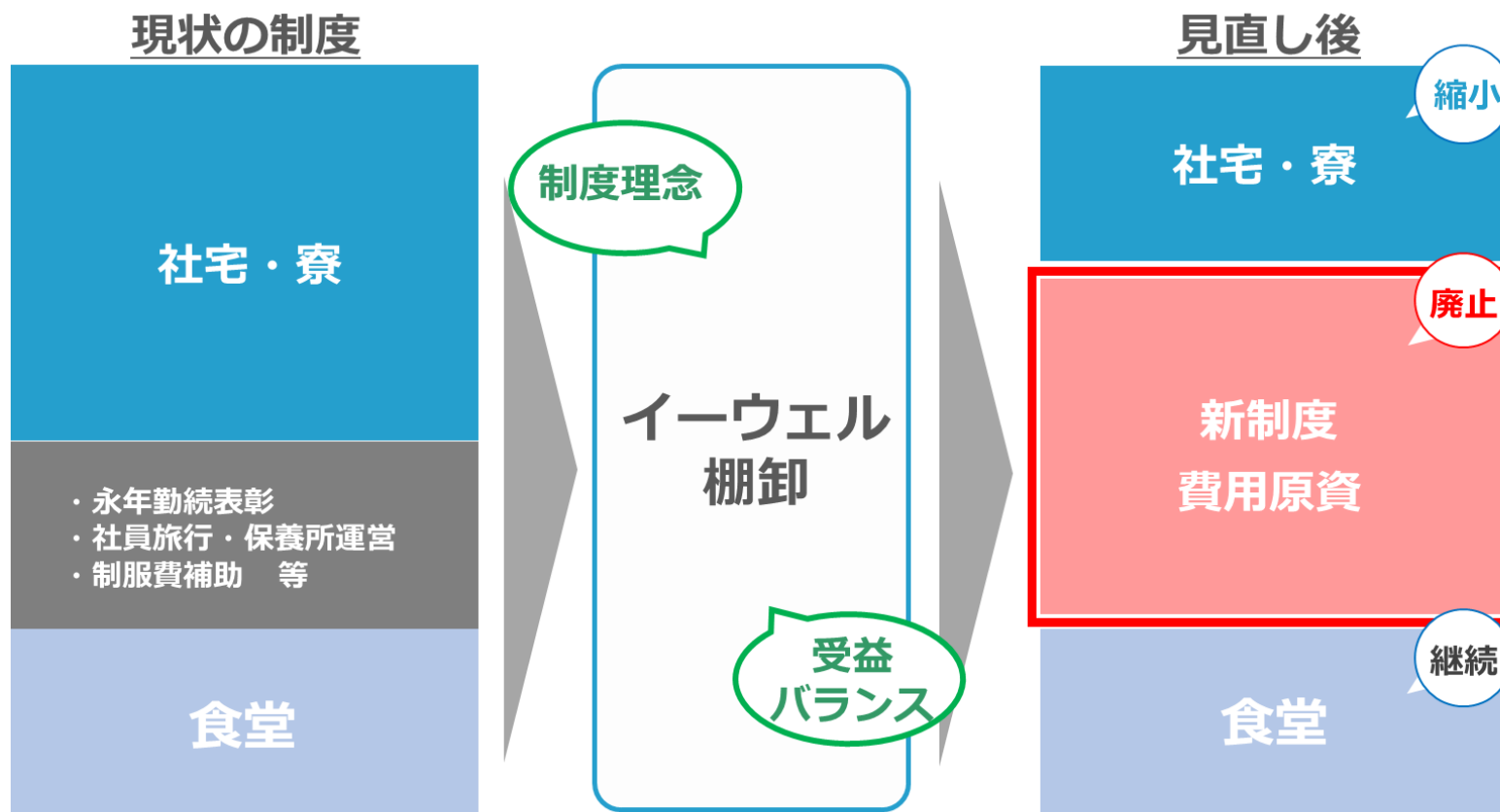
**社内決裁**

ステップⅠ

制度見直し

既存制度棚卸・評価、方向性の決定

棚卸によるポイント原資の確保、制度の見直しのイメージ



導入の検討段階では、ポイント原資の確保がハードルになる会社が多いようです。新制度費用の原資は、既存制度の改廃によって捻出する必要があるからです。

「制度見直しの事例」 重工業A社（従業員数：15,000名）

特徴

従業員1人1人のライフプラン形成のサポートを基本に考えた制度改革を実施。カフェテリアプランでは一律に付与される基本ポイントに加え、年齢区分に応じて付与ポイントを加算。

既存制度の課題

- ・ 制度およびその費用の硬直化・割高感
- ・ 利用頻度の格差と不公平感の是正
- ・ ニーズの多様化への対応

既存制度/改廃結果（抜粋）

寮・社宅制度	個人負担額値上げ
給食制度	食事代負担変更
	営業所手当変更
	食事手当変更・廃止
	業務委託先変更
リフレッシュ休暇制度	旅行券廃止
財形住宅貯蓄制度	利子補給廃止
住宅融資制度	利子補給廃止
作業服貸与	購入個人負担値上げ
安全靴貸与	購入補助金廃止
クラブ活動補助	補助支給変更
職場レク・グラウンド	廃止

新制度構築の理念・テーマ

1. 個人のライフプランの形成をサポートする自立支援型福利厚生へ
2. 多様な選択肢
3. 適正な受益者負担
4. 効率的な福利厚生費の運用

制度改革による捻出額 1人あたり **70,000円～110,000円**

カフェメニュー（抜粋）

給食利用費用補助
バウチャー券利用費用補助
旅行積立サービス補助
財形住宅貯蓄補助
住宅融資補助
賃貸住宅家賃補助
作業服・事務服・安全靴購入費用補助
クラブ活動補助
レクリエーション利用費用補助

カフェ以外の制度（抜粋）

寮・社宅
持株会
財形年金貯蓄
積立年金保険
新従業員融資
団体グループ保険
育英扶助年金
見舞金・弔慰金
保険診療所

ステップⅡ

制度設計

制度内容の検討・運用の整理

第2ステップでは、制度設計に入ります。
制度概要を具体的に取決めていきます。

①制度要件の策定

②メニューの策定

③運用方法の決定

④制度の周知

ステップⅡ

制度設計

制度内容の検討・運用の整理

① 制度要件の策定

- ・ 付与ポイントルール
- ・ 制度対象者
- ・ ポイント申請期間
- ・ 退職者の扱い など



付与ポイント数のほか、1ポイントの補助単価やポイントの有効期限などのポイントルール、制度の対象とする従業員の職制やポイントの申請期間、退職時のポイント精算ルールなど、制度の細かな仕様を、社内ルールと照らし合わせて決定します。

ステップⅡ

制度設計

制度内容の検討・運用の整理

②メニューの策定


- ・メニューラインナップ
- ・補助対象者
- ・補助対象／対象外
- ・課税／非課税
- ・申請フロー など





カフェテリアプランにどんなメニューを用意するのか、各メニューの補助対象者やどのようなサービスや品目を補助対象・対象外とするのか、申請ポイントの給与加算時の税の扱いはどうするのか、ポイント申請をどのように行うのかなど、**補助メニューに関するルールを決定**していきます。従業員が制度を使いやすいよう、**従業員のニーズに合った様々なものを検討**する必要があります。

補助メニューラインナップ（一例）


 財産形成	財形貯蓄・持株会奨励金
	401k・企業年金
	FP相談費用
	保険料補助


 住宅	社宅・独身寮入居
	家賃補助・住宅手当
	住宅融資利子補助


 自己啓発	各種スクール受講
	資格取得受講
	受験
	PC教室受講
	PC購入
	書籍購入
	ボランティア活動

 余暇支援	宿泊・旅行費
	直営・契約保養所利用
	会員制リゾート利用
	文化鑑賞・スポーツ観戦
	レジャー施設利用
	チケット・イベント費用
	職場レク・クラブ活動

 育児・介護	育児施設・サービス利用
	育児用品購入
	ベビーシッター派遣
	認可外保育・延長保育料
	教育費・教育ローン
	介護施設・サービス利用
	介護用品購入

 健康	人間ドック・PET健診
	リラクゼーション利用
	医療費・差額ベッド代
	スポーツクラブ利用
	禁煙外来

 生活支援	社員食堂・BV(食券)利用
	ユニホーム・安全靴購入
	自社製品購入
	引っ越しサービス利用
	身だしなみ補助
	防災・防犯用品購入

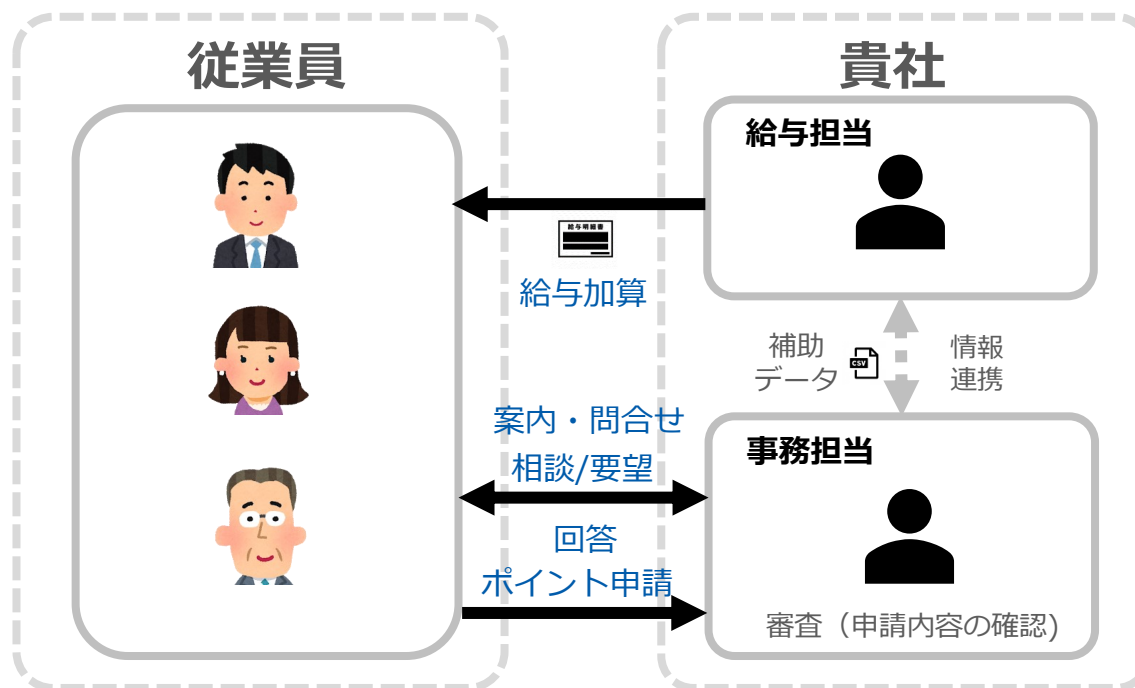
 社内コミュニケーション	社内コミュニケーション
	法律・生活相談
	新幹線通勤費

ステップⅡ

制度設計

制度内容の検討・運用の整理

③運用方法の決定



毎月の従業員の申請はどのように取りまとめるのか、申請内容の審査や管理、給与担当との連携はどう行うのか、従業員からの問合せや要望の窓口はどこで、その内容をどうやって制度に反映するのかなど、制度全体が円滑に進むよう、**様々な状況を想定して実際の運用方法を決めていきます。**

ステップⅡ

制度設計

制度内容の検討・運用の整理

③運用方法の決定

給与加算時の課税・非課税について

申請ポイントの給与加算時の税の扱いも重要です。税の扱いについては個別の判断事例も多く、「これは課税」「これは非課税」といったような明確なルールはありません。税の扱いについての見解は判例や所得税基本通達、国税庁のホームページなどでも確認はできますが、**担当者で判断はせず**、必ず所管の税務署や税理士に相談の上、判断を仰ぐことを強くお勧めいたします。

**所管の税務署や税理士に
相談の上決定**

ステップⅡ

制度設計

制度内容の検討・運用の整理

④制度の周知

カフェテリアプランの制度周知や
利用の浸透のために必須



制度マニュアル

制度マニュアルには、制度理念や制度概要に加え、
ポイント申請から給与加算までの流れ、
各メニューの詳細説明、Q&Aなどを記載し、
「これを見れば不足なく制度利用ができる」状態に
しておくことが重要です。この情報が不十分だと、
運用開始後に従業員からの問合せに、日々追われる
ことになります。



社内説明会

社内での説明会を行う必要もあります。制度開始時はもちろん、毎年入社する新入社員や中途入社の社員に対しても、都度実施する必要があります。近年では、感染症予防の観点から、事前に収録した動画の視聴による実施も増えてきています。

ようやく運用開始へ

カフェテリアプランは公平・公正で自由度が高く、環境変化にも柔軟に対応する制度ですが、その導入には多くの検討や決定事項があり、決して低いハードルではありません。

既存の社内制度の見直しには、考慮しなければならないことがとても多くの時間を費やします。

日々の業務が忙しい上に採用活動や、コロナ対応、社員教育や研修の実施、健康経営の実現に向けての様々な施策など、新しい業務も増え、多忙で手が付けられない！計画はしているがなかなか進まない！という状況ではないでしょうか。

こんな状況だからこそ、その手段として、

**アウトソーシングサービスの
活用を検討してみませんか？**

アウトソーシングサービスの活用は、新制度の整備という長い道のりを乗り越えていくための近道です

新制度の整備



01 福利厚生の現状

.....

02 カフェテリアプランとは

.....

03 カフェテリアプラン導入・運用

.....

04 EWELにお任せください

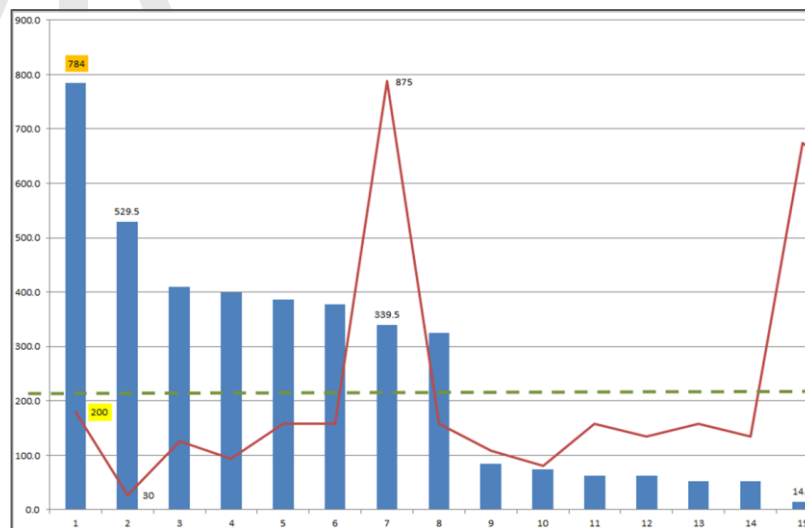
.....

★コンサル カ No1 !

イーウェルにお任せください！

見直しの理念を基に棚卸しのレポートを作成します！

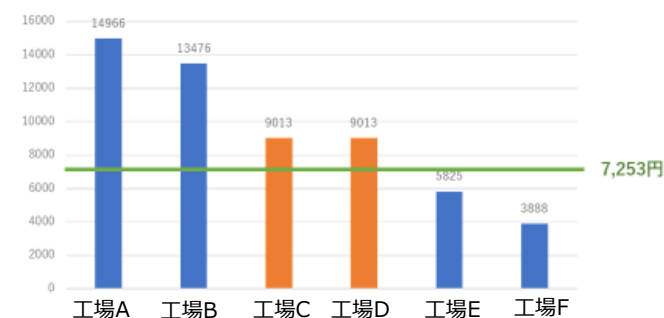
■付与制度別金額バランスマップ



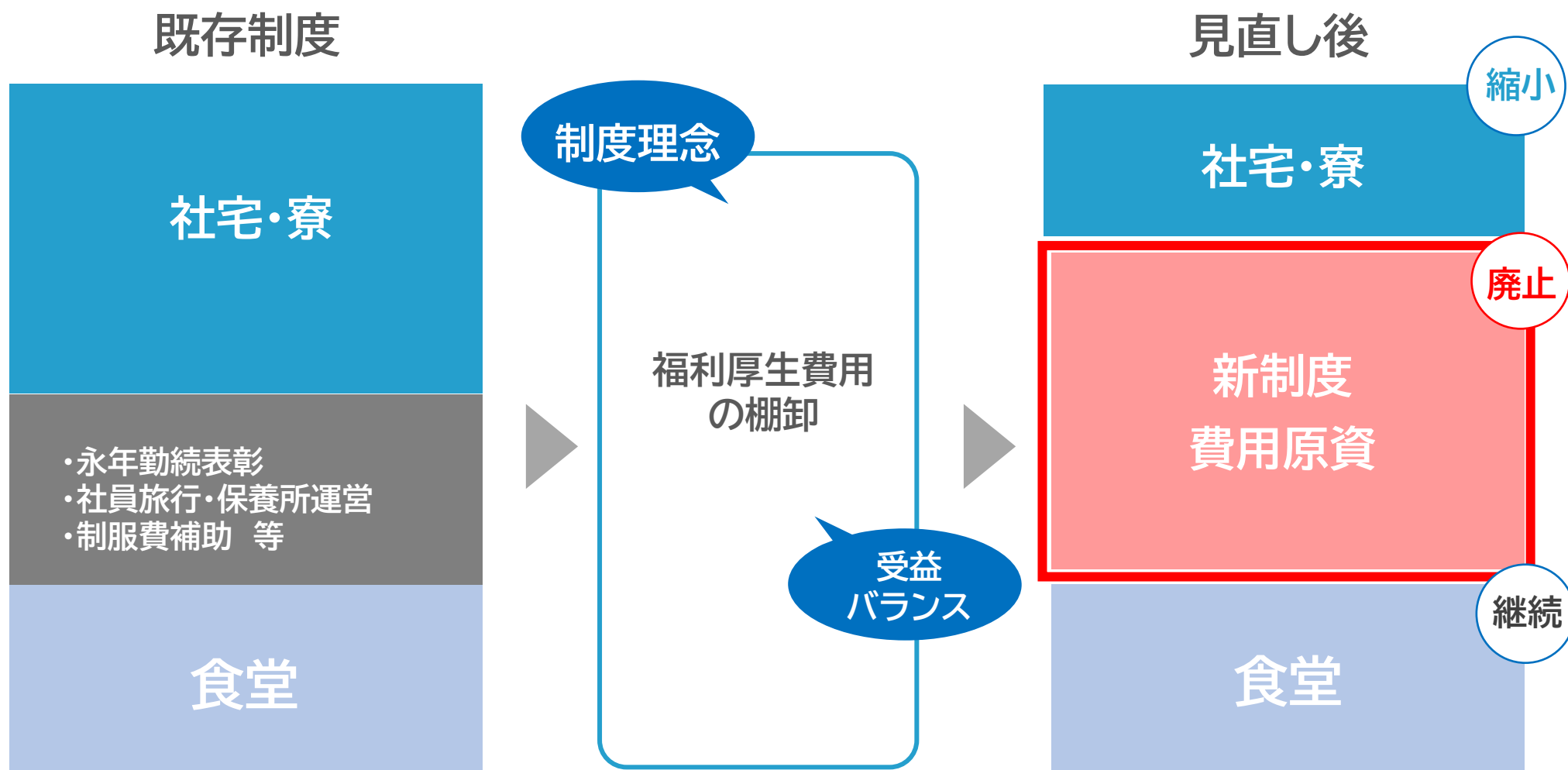
恩恵分布

■年間コスト	333,889,288円
■利用者	3,836人
■受益単価	87,041円/年・人 (7,253円/月・人)
■平均給付額	87,041円/年・人 (7,253円/月・人)

受益単価 (月)



原資をどこから確保するのか、**理念や受益バランス**を見ながら
新制度の設計をご一緒に検討、コンサルティングいたします。



カフェテリアポイントの申請は、基本的に支払った後に差額をキャッシュバックするやり方が多いですが、**スマホなら領収書を受け取ったその場で申請**が出来るので大変便利です。

1 撮る



2 ログイン



3 入力

WELBOX
申請ポイントの入力

スポーツ (スポーツ・アクティビティ)

申請内容をご確認後、申請ポイント数を入力して「次へ」を押してください。

申請内容詳細

領収書発行日: 2017年9月3日

利用者名: イーウェル 花子

利用金額: 3,200

社員本人との続柄: 本人

補助のタイミングについて

本日申請した場合の給与反映予定月
2017年10月

利用金額と補助

ポイント補助対象金額 3,200円

申請ポイント

ポイント補助対象金額 3,200円

ポイント数を指定して申請
最大ポイント数で申請

即時ポイント	申請可能ポイント	申請ポイント
即時ポイント (ポイント期限: 2017/9/31)	32	32
申請ポイント (合計)		32

4 添付

WELBOX
申請内容登録完了

スポーツ (スポーツ・アクティビティ)

ポイント申請を受け付けました。

補助のタイミングについて

本日申請した場合の給与反映予定月
2017年10月

申請ポイントと残ポイント

ポイント種類	申請ポイント	申請後の残ポイント
即時ポイント	32	9,668

カフエテリアに戻る

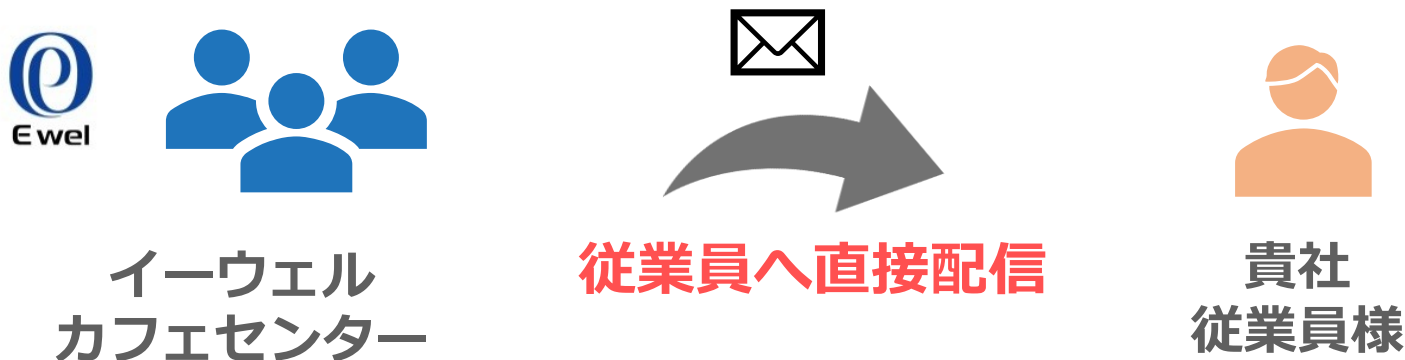
5 完了！



簡単5ステップ

スピーディーに結果をお伝え！

カフェメール



「カフェメール」という機能も便利な機能です。

カフェセンターで審査が終わると、その結果をすぐにお知らせします。審査結果意外にも、残ポイント数なども定期的に配信し、ポイントの利用促進を行っています。

否認理由もメールのURLからすぐに確認可能なため、従業員は申請したものがどう処理されているかすぐにわかり安心です。

高品質のオペレーション！カフェ専用センター

企業専属担当者制

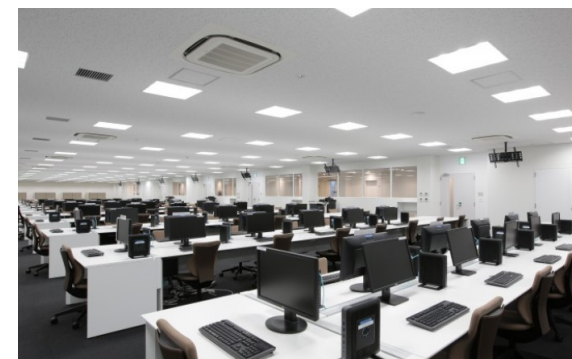
制度を熟知したオペレーター対応

3ヶ国語【英・中・韓】対応

母語が外国語の方でも安心して利用可能

専用オペレーションシステム完備

オペレーター対応の平準化



高品質なオペレーションをご提供するために、**企業専属担当者制を採用**しています。カフェテリアプランは企業ごとに異なる制度となり、誤案内を防ぐためにも、制度に熟知した担当が対応しています。

例① 利用先を限定したポイントの付与

課題



産休育休の
復帰が
ほぼ100%



育休復帰者の
働きやすい
環境を整えたい



育児の制度にのみ利用
できるポイントを設定

随時ポイント

・・・全てのメニューに利用可能

育児ポイント

・・・**育児メニューのみ**に利用可能

ポイント種類	当年度ポイント	消化済ポイント
育児ポイント	10,000	0
随時ポイント	10,000	0
合計	20,000	0

会社の理念や実現したいことを**システム設計に柔軟に反映**できます。たとえば、通常ポイントとは別に、重点メニューだけに利用を限定したポイントを付与することができます。

例② ポイントの利用傾斜を設定

課題



両立支援に力を
入れていることを
アピールしたい

両立支援の
制度はあるのに
使われない



育児・介護の制度に
ポイント傾斜を設定！！

繊維業 (11,000名)の場合

1 P = 100円 ➡ **200円** [Ⓟ]

※**2,000円**の知育玩具が**100P**で申請可能

育児

育児施設補助

子供教育費用補助

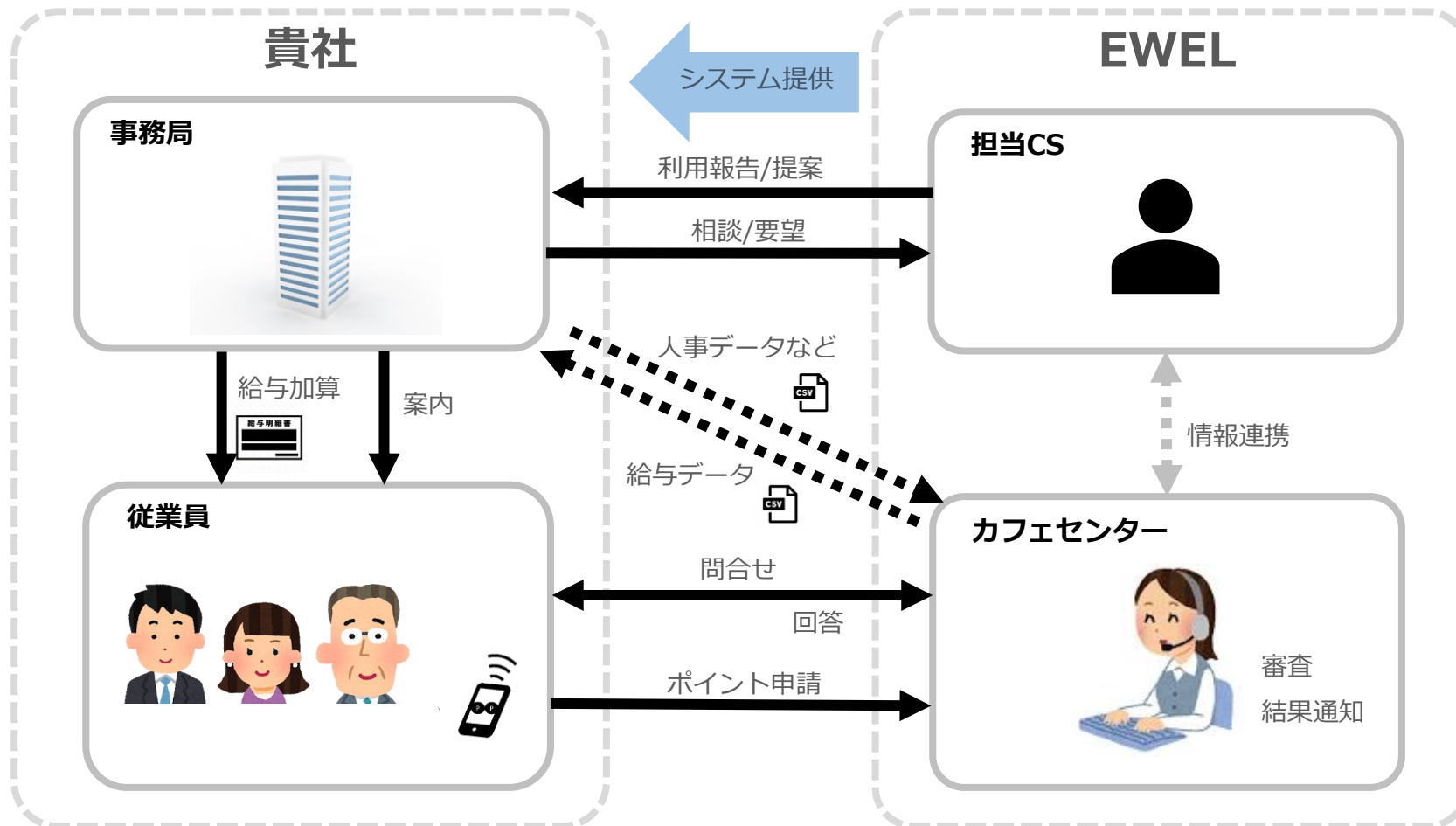
マタニティ用品購入補助

介護

介護施設利用補助

介護用品購入補助

特定のメニューに限定して、ポイントを使うときの交換比率を、基本の**1ポイント100円**から**1ポイント200円に変更**して申請が可能となるような設定も可能です。



アウトソーシングの運用については、**カフェテリアプラン申請のシステム提供**はもちろん、従業員様のお問い合わせ窓口や審査、結果通知など全て弊社のセンターで行い、給与に必要な加算データなども毎月ご提出いたします。また、企業様に対しては、制度の利用状況などに合わせたご提案やご要望・ご相談の窓口も弊社のCS担当者が行いますので、**ご導入後の安定運用から制度利用状況の把握・制度の見直し**まで、トータルでサポートいたします。



カフェテリアプランの制度設計



制度棚卸からサポート



制度設計と定期的な見直し



実績No.1のコンサル力で支援



申請手間・審査工数



ペーパーレス申請、審査基準表

カフェテリアプラン代行単価



お問い合わせください
個別にお見積りいたします

カフェテリアプランについては、制度設計の内容により単価が大きく異なってきます。
ご興味いただけましたら、一度お見積りさせていただきます。

充実したオフを過ごす

福利厚生パッケージ

WELBOX

- 会員数 約498万人
- 豊富なメニューラインナップ
- 短期間で導入可能



導入実績NO.1

カフェテリアプラン

- 制度設計フェーズより
コンサルティング(新規/見直し)
- ご提案後の構築～運用まで対応

健康経営を推進する

健保設立
コンサルティング

- 健保設立～運営支援まで対応
- 健康施策の推進もサポート

健康経営推進
支援サービス

- 健康データ分析
- 各種認定取得コンサルティング
(健康優良法人認定/ホワイト500 等)
- 健康経営の実行支援

生き生きと働く

福利厚生プラットフォーム

c-CANVAS

- 情報集約して効果的に発信
- 貴社理念に合わせたデザイン設計
- 管理画面より情報更新が可能

ポイント型報酬サービス

インセンティブ・プラス

- 働くモチベーションアップを実現
- 目的に合わせた付与ルール設定可
- 管理画面より簡単操作

健康的な生活を送る

健診手配～データ納品まで
健診事務代行サービス

- 全国3,000以上の健診ネットワーク
- 手配～結果のデータ化まで一括対応
- 保健指導や受診率向上支援も実施

みんなの健康応援サイト

KENPOS

- 健康活動の記録・管理
(歩数・体重・運動・食事など)
- コミュニティ機能あり
- 健康ポイントをインセンティブ活用可

組織診断サービス

ウェルスコア

- 組織の強みや課題の分析
- 納得感のある施策・提案
- 学術的・統計的な信頼性

顧客満足度を高める

顧客満足度向上
支援サービス (CRM)

- マーケティング支援
- サービス開発
- 顧客データ分析

 = 今回ご紹介

他にもご興味のあるサービスが
ございましたら、お気軽にお問
合せください。

お問い合わせ



イーウェル

検索



株式会社 イーウェル

東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル